

～ 沖縄日本から米軍基地をなくす草の根運動 ～

草の根ニュース

－ 独立しんぶん

基地と主権侵害なくす憲法9条実現政府のために

- 全国本部 : 〒150-0042
東京都渋谷区宇田川町 19-5 山手マンション 1001 平山両牧師記念平和センター内
- 電話・ファックス : 03-3461-5758 090-4175-2010(事務局長)
- メール : kusanone@world.ocn.ne.jp
- ホームページ : <http://www.kusanone.org>
- 郵便振替口座: 00190-5-611535 沖縄日本から
米軍基地をなくす草の根運動

全基地撤去の超党派個人加盟全国単一市民団体へ前進を！
全都道府県に都道府県本部を 市区町村に支部を 地域職場学校に班を
米軍基地をなくす草の根運動 会員拡大を！

新潟県で、新地方組織発足

「雪椿の会」(班)、3人で そのほか2人が新入会

辺野古から奥間政則氏招いて講演会及び拡大運営委員会

11月24日(2021年)午後2時から、新潟市内の新潟教会で、沖縄から奥間正則さんを招いて、講演会が開かれ、雨の中約30人が参加しました。



奥間政則さんは、沖縄県におけるハンセン氏病患者への差別問題を、自分の体験を通じて話しました。続いて、辺野古新基地埋め立て工事反対運動について話しました。ドローンを使っての新基地工事の監視活動、それに対する警察と防衛省のいやがらせ行為などとの闘いを話しまし

た。参加者は、奥間さんの話に感銘しました。

講演会の後、草の根運動の拡大運営委員会が開かれました。参加者の発言ののち、辺野古新基地建設に反対することを確認しました。その場を借りて、新潟県在住者3人で、班を結成しました。班の名前を「雪椿の会」としました。「花は越後の雪椿」(演歌、小林幸子など)にある雪椿からとりました。

集会後、市内で懇親会が開かれ、講師の奥間政則さんや、草の根運動運営委員の野田尚道さん、新入会の若者をふくめ懇談しました。

新潟県では、2021年に6人の新入会員を迎えています。

迎春

悠然と歴史を信じて

頑張りましょう！

「地元合意もなく、環境を破壊する 沖縄辺野古での新基地建設を中止する。」 衆議院総選挙における野党共通政策の提言

——命を守るために政治の転換を——から(再録)

立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組の党首が9月8日、国会内で、実現に全力を尽くすことに合意し署名した市民連合の「衆議院総選挙における野党共通政策の提言——命を守るために政治の転換を——」から。



新型コロナウイルスの感染の急拡大の中で、自公政権の統治能力の喪失は明らかとなっている。政策の破綻は、安倍、菅政権の9年間で情報を隠蔽(いんぺい)し、理性的な対話を拒絶してきたことの帰結である。この秋に行われる衆議院総選挙で野党協力を広げ、自公政権を倒し、新しい政治を実現することは、日本の世の中に道理と正義を回復するとともに、市民の命を守るために不可欠である。市民連合は、野党各党に次の諸政策を共有して戦い、下記の政策を実行する政権の実現をめざすことを求める。

1 憲法に基づく政治の回復

・ 安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する。

・ 平和憲法に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジア

■ 党首会談での合意事項

両党は以下の点を協力することで合意した。

- 1、次の総選挙において自公政権を倒し、新しい政治を実現する。
- 2、立憲民主党と日本共産党は、「新政権」において、市民連合と合意した政策を着実に推進するために協力する。その際、日本共産党は、合意した政策を実現する範囲での限定的な閣外からの協力とする。
- 3、次の総選挙において、両党で候補者を一本化した選挙区については、双方の立場や事情の違いを互いに理解・尊重しながら、小選挙区での勝利を目指す。

における平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う。

・ 核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する。

地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する。

2 科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化 など以下略

日本学術会議の会員を同会議の推薦通りに任命する。

2021年9月8日

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

上記政策を共有し、その実現に全力を尽くします。

立憲民主党代表	枝野 幸男
日本共産党委員長	志位 和夫
社会民主党党首	福島みずほ
れいわ新選組代表	山本 太郎

(編集部から一公党間が合意した政策は、その選挙が終わったら無効になるものではありません。選挙での公党の政策・公約は政党間の約束であるだけでなく、「国民との公約」ですから)

第66回日本母親大会 in 沖縄

記念講演 生命の尊厳が保障される社会をめざして (1)

講師 仲山忠克(弁護士)

1 はじめに

皆さん、こんにちは。沖縄で弁護士をしている仲山と申します。今日は「生命の尊厳が保障される社会をめざして」と題して、お話をさせていただきます。

2 命がけの生命誕生とそれに託された希望

作家有島武郎の「小さき者へ」は、父親が子どもたちに亡くなった母親のことを語りかける小説です。その中に「産は女の出陣だ。いい子を生むか死ぬか、そのどっちかだ」という行があります。出陣になぞらえて、お産が命がけの行為であること、母親のその命がけの行為によって、あなたたちは生まれたのだ、と論ずる場面があります。医学の進歩により危険性が低減したとはいえ、お産が命がけであること

の本質は変わらないと思います。輝かしい生命誕生の根源に母親の命がけの行為があったこと、その無限連鎖が人類を存続させてきたのです。このような生命誕生に託された願いや祈りはなんでしょう。私は自己の出生に照らして、「希望」だと理解します。私の父は、去る沖縄戦の八重山地域における「戦争マラリア」で5人の家族を失いましたが、その一人は妻でした。私の母は男手が出征した後の実家を守り、婚期を失っていました。そのような父母が戦後結婚して、私は誕生しました。中学生の頃、「戦争がなければ自分は生まれなかったのだから戦争否定は自己の存在の否定ではないか」と自問しました。しかし10代前半の少年が解答することは無理で、そのうちその自問自体忘れていました。2015年、中学卒業50周年の同期会を準備する過程でそれを思い出し、同期会

開催までに決着しなければならぬと決意しました。そして私の出した解答はこうでした「戦さ世が終わり、生命が抹殺されることのない平和の世の中の到来の希望として、私はうまれた」というものです。団塊の世代といわれた戦後のベビーブームは、希望の象徴の集積であったのです。命がけの生命誕生に託されたのは「希望」であり、それは生命そのものに内包されている本性だと思ふのです。

人間が社会的存在である以上、生命の尊厳とそれに託された希望を持続的維持擁護するためには、それらを保護する社会制度、システムがどうしても必要です。これについて、世界の現実はどうなっているのでしょうか。

3 繰り返される戦争史から戦争違法化への到着と限界

世界の歴史を俯瞰するに、洋の東西を問わず、人類は古から国家間の紛争、国家内部の権力闘争において武力を用いて対決してきました。武力衝突ですから、それは生命の殺伐を必然ならしめるものです。内戦を含めた戦争こそが、生命の尊厳を破壊し、それに託された希望を絶望へと暗転せしめた最大の社会事象であったのです。殺伐を目的とし、それ自体が正義であり、その量の多さが勝利であるとする観念が繰り返されてきたのが世界史の現実です。かつての戦争犠牲者は原則として戦闘員に限られていました。しかし武器の発達は1853年に発生したクリミア戦争、あのナイチンゲールが活躍した戦争ですが、それ以降に発生した残酷さを現出し、非戦闘員(民間人)の犠牲者を増大させてきました。

ここでまとめて民間人の戦争犠牲者の数値について述べます。20世紀初頭は5%でしたが、第一次世界大戦時には15%に増加し、第二次世界大戦では65%に急上昇しています。ちなみに1990年代までの間においては戦死者の75%が、21世紀最初の10年間においては戦死者の90%が民間人であり、そのほとんどが女性と子どもたちであるといわれています。私は、社会の予算は社会的弱者に集中的に具現化すると言っていますが、戦争もその例外ではないのです。近代戦争の悲惨さ、残酷さを目前にした人類の良心と良識は、1899年と1907年にオランダのハーグにおいて平和国際会議を開催し、一定の大量破壊兵器の禁止と戦争のルール化を定め、戦時国際法が制定されます。しかし当時、戦争は主権国家の権利であるとする無差別戦争観が国際的に支配していましたので、戦争そのものを規制し制止するものではありませんでした。戦時国際法はあくまでも戦争を前提としたそのルール作りです。1899年のハーグ会議について、作家トルストイは「ハーグ会議の目的は、平和を確立することではなく、戦争の悲惨さをなくす唯一の方法を人々の目から隠すためだ」と批判しています。1914年に勃発し、未曾有の犠牲者を生み出した第一次世界大戦は、戦時国際法の限界を示すものでした。その悲惨さは、戦後、米国を中心に市民によって戦争違法化の平和運動が起こります。この運動に応える形で、ブリアン外相とケロッグ米国务長官の提案により、戦争違法化を定めたパリ不戦条約が1928年に制定されています。日本は翌29年にそれを批准します。これま

で戦争は国家主権の発動であり合法的と考えられていた戦争観が、このパリ不戦条約によって戦争は犯罪であり違法であるという国際法として確立したのです。しかしパリ不戦条約は、不戦は定めたものの、戦争の手段たる軍事力禁止の非武装を定めたものではありませんでした。そのことは制定11年後の1939年に第二次世界大戦の発生を許してしまいます。そして我が国で310万人、アジアだけでも2000万人を超える死者を出すことになったのです。その第二次世界大戦の経験は、戦争を抑制し禁止するための国際機構として国際連合を誕生させ、1945年6月の国連憲章制度へと結実します。それは武力の行使の禁止のみならず、武力による威嚇をも禁止し、戦争違法化の集大成といわれるも

のです。しかし国連憲章は例外的、暫定的処置として武力の行使を容認します。これが国連憲章51条の個別的自衛権及び集団的自衛権の行使承認です。その後、同条項は東西冷戦構造の下で米国とソ連を中心とした軍拡競争の正当化の法的根拠となってしまいます

この国連憲章の制定から1年5カ月後の1946年11月、恒久平和主義を定めた日本国憲法が制定されます。なぜ恒久平和主義といわれるのでしょうか。国連憲章とどう違うのでしょうか。(続)

(「母親しんぶん」739号2021年11月29日)(以下「草の根ニュース」に連載予定)

返信用到着はがき 2021年10月 から

■■■■ (埼玉県春日部市)

今この地球は恐ろしい温暖化で危険!!! どうなるか!!!?
基地など この地上で争う時間など全くなし!!
まず生きのびることが先決です

■■■■ (佐賀市)

衆院選が公示され選挙戦真催中!
佐賀では前回 1, 2区共勝利しました。今回も勝たなければなりません、

新聞の報道では 保、革伯仲(自対立民)とのこと、私の予想では与党に厳しい判断が下ると思っておりましたが、世論は、自・公政権の政治に対して寛容だなあ、という印象です。市民連会の仲介によって野党共通政策の提言、立候補者の一本化が大方成立し、望みが叶えられそう期待しています。

■■■■ (鎌倉市)

去る10/17鎌倉市長選挙がありました。結局現職が4選果たしましたが、その政策はとんでもないもの

①柏尾川の水害想定地を整備地下に貯水槽を作り、温水処理する。そこに現在安全地に在る市庁舎も移転する。

②不要な東海道線の新駅を藤沢市内に作るのに賛同し藤沢市と同額の負担を了承

③ゴミ処理施設は広域処理にして、他地区に任せ処理しきれぬ分は業者委託

どれも荒唐無稽な案、特に①は災害が想定を超える昨今貯水槽で安全が確保できるのか、大量の雨が長期に降り続く例のあることを思うと、危険を想定せずにはいられないし、水害想定地に

事業所や住居を構えようと思う者が居るとは考え難い。自然は人力では変えられない現庁舎が手狭なら、都市計画法や風致地区条例など人間が変えられるものを変更すべきではないか。現職に票を入れたのは3・5万人、鎌倉市民であることを恥ずかしく思う

無記名 さま

年収は230万から60万近く減収、いまだに奨学金は270万を返済しろとの取り立て、年金は未納で特別督促状まで、両親は認知症で自分のこともままならず、せめて、日常生活で少しでも「ゆとり」があれば「まっとうに」くらせるのに、これでは、日常生活がどうなるか、明日が見えません……。

読者の声 「草の根ニュース124号」

(大阪府)

いつも いい資料を送っていただきありがとうございます。

(世田谷区)

どうぞよろしくお願い申し上げます

(千葉市)

年会費一口、のぼり旗一枚、余りはカンパです。よろしく願いします。

(川崎市)

恒衛、10月より老人介護施設に入居しており、資料が読めません、退会させていただきます(妻)

(編集部から くれぐれもお大事に。恒衛さんのお気持ちを引き継いで下さる様に心からお願いいたします)

(藤枝市) とんでもない選挙結果です、あきらめず倦まず、やりつづけましょう。愛知県警高江巡查違法判決吉報

(船橋市)

真の平和の訪れを願って

(横浜市)

ピース ピカソ 平和

(福島県石川地方 憲法を守る会・代表)

「ご存知ですか！」日本全国米軍基地マップ残部ありますか、あれば送って下さい。代金請求下さい送料込みまさに脱米 基地閉鎖の時

(新潟市)

会費遅くなりすいません。新潟の奥間さんの会にご参加頂けるとの事ありがとうございます

(枚方市)

岸田政権は辺野古の基地建設を「唯一の解決策」と繰り返す。このような強権政治は絶対に許せない！！

(福島県)

入会します。応答有難うございました、協力します。

(横浜市) いつも郵送ありがとうございます

(春日部市・医師)

度々の会報ありがとうございます。「しんぶん赤旗」で今の日本の現状、大変なことがよくわかります。でも私も93歳になり、収入もわずかですので、わずかしか送れませんが、私のできるかぎりがんばります。2021・11・29

雨

あ・け・み

雨の日は

孤独な

カタツムリ

傘に守られ

濡れた舗道の

一本道を

耳を傾け

雨の音に

包まれて

サイレント

スタンディング

倉谷 あみ

美しく整った

オムライスのように

心と身体すがしく

街角に立つ半時間は

だれかにささげる

祈りです。

—私には夢がある—

銃弾に倒れた

彼の地の聖者に

夜具背負い

開拓地へと歩いた

はるか若者たちに

—やめて! 乱開発!

悲鳴あげる地球に

—新しい風窓辺に迎え

もみの木(シベリウス)の

レコード音ひびかせながら

残りご飯

薄焼き卵で

やさしく包んだ—

痛む膝に憂える

同志とともに

約束の街角で

サイレント

スタンディング

ふしぎな家の

ふしぎな人や

キラリと現れ

からりと去る

粹なほほえみ人と

約束の午後

サイレント

スタンディング

「矢臼別原野を平和公園にしよう！」

まずは川瀬牧場を平和公園にしよう！」

矢臼別平和公園クラブ通信 No.64から

あっという間に

浦 舟三郎

今年の夏は初めて経験する夏でした。特に体調がすぐれなかったので居間で過ごすことが多かったのです。

7, 8月と扇風機を時々。そしてもう9月末には石油ストーブに火を入れていました。だから汗をかいて熱いと思ったのは何日あった

矢臼別西方さんぽ

矢臼別平和盆踊りの広場から今日は西方を目指して行ってみます。少し下り坂の低みに、キング式牛舎を改装した「平和の家美術館」があります。コロナがなければ二階に展示された作品を見ることが出来ます。美味しいコーヒーを頂くこともできるのですけどね。風除室に置かれた作品が秋の陽に照らされて暖かくのんびり誰かを待っています。大きな石像「平和の馬に乗る人」を鑑賞して次はイワキアブラガヤという馬が好んで食べる草の群生地に行きます。福島大学の先生がルーツを調査に見えたことがあります。そして平和池があります。草地のところから平和池小島に架る橋を見る

事か。そしてあっという間に秋に突入です。今のシーズン、週一で、国道舗道側の交差点で「しんぶん赤旗」紙面の見出しを文字板に認(したた)め沈黙スタンディングを続けています。今度こそは長年のウップンを晴らさなくては。頑張らないと今こそ

漆原 伸子

とモネの矢臼別版かなと思います。水面には睡蓮ではなくて、水草?の葉が広がっています。今年道普請をしなかったせいか凸凹が目立ちます。足元に注意しながらしばらく小道を進みます。木立の中には明るく澄んだ光が差し込んでいます。

矢臼別平和資料館の背中と浦さんの住宅、「とりで会館」が見えるあたりに立つと右手に大きな桜の木があります。森の中に入っていくと近くで見ようとするのですが無粋な「立ち入り禁止」の看板が立ててあります。誰も見ていないときにみましようか。

(編集部から- 矢臼別演習場は、自衛隊の演習場です。しかしそれは、れっきとした日米地位協定2条4項bに規定された米軍演習場です。自衛隊は米占領軍が「警察予備隊」と称して、日本国憲法9条に反して創設したいざというときには、米軍指揮下に入る米軍指揮下の軍隊です。矢臼別の仲間は粘り強く闘い続けています)

日本で唯一の全基地マップ

学びましょう！普及しましょう！普及運動にご参加を

1枚のマップ普及が、対米独立・主権回復へ歴史を動かします

日本沖縄で唯一の基地マップを、ご家族に、友人に、知人に、日本国民に、普及して頂けませんか！

1人でも多くの「日本沖縄」国民に、基地マップを見て頂くだけで、「基地なくす力」を、一歩つよめます

なぜなら外国軍隊の基地(約200)と兵力(5万6千人)が、

これほど多い国は、世界でも「日本沖縄」国だけであり
沖縄県だけでなく日本全土が基地に覆われていること

「全土米軍基地方式」の惨状を

国民に知って頂くことになりますから！

対米独立のために全基地撤去の目標を堅持することが大事だと思います

全基地撤去の基地条約終了通告政府を作るためにも、その前に今、辺野古工事中止など沖縄建白書実現を含む市民と野党の共闘で「アベ・スガ・キシダ自公政治を許さない」立憲野党政府を作ることが緊急課題であり、7月の参院選と次の総選挙で、候補統一実現と勝利への必死の努力、支持拡大があれば可能です。

この基地マップは日米地位協定において定義されている在日米軍基地を構成する米軍専用施設(地位協定2条1項a)、米軍共用施設(2-4a)、米軍一時使用施設(2-4b)のすべてを網羅した日本で初めてのマップです。『日本沖縄』の全米軍基地の内訳は、

①米軍専用施設 51(うち本土28)、

②自衛隊共同利用米軍施設(地位協定2条4項a【2-4-a】)27(うち本土19)、

③米軍利用可能施設(地位協定2条4項bにい、よんb【2-4-b】)119(うち本土115)です。「日本沖縄」国には、197(うち沖縄県に35も、うち本土162)の基地があります(ウィキペディア「都道府県別の全ての米軍施設規模と都道府県別の米軍施設」より)。その全基地を地図で示したものが、草の根運動オリジナルの「基地マップ」です。この基地マップの学習と、全力を挙げての国民への普及にご協力ください!!

この基地マップには、住民に限りない苦痛を与えている全国の米軍機超低空飛行訓練ルートも示されています。(草の根運動事務局で受付中 1枚200円、10枚1000円)



政府、反基地感情高まり懸念 コロナ感染拡大、米軍震源説強まる

22/1/7(金) 時事通信

新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置が適用される沖縄、山口、広島3県の感染急拡大は、在日米軍基地が「震源」との見方が強まっている。

米軍の感染対策は日本と比べて緩さが指摘され、日本政府は国民の反基地感情が高まりかねないと懸念している。

「外出制限の導入を含め、措置の強化と徹底を強く求める」。林芳正外相は6日、ブリンケン米 국무長官と電話し、在日米軍の感染対策厳格化を求めた。外相の外出制限要求は異例だ。ブリンケン氏は「できる限りのことをしたい」と応じた。

3県の共通点は米軍基地が身近にあることだ。沖縄にはキャンプ・ハンセンなど国内施設の7割超が集中。山口は岩国基地を抱え、広島は同基地のある山口県岩国市に隣接する。沖縄と山口の基地では変異株「オミクロン株」が原因と疑われるクラスター（感染者集団）も発生した。

在日米軍をめぐっては水際対策の手抜かりが昨年12月に判明している。日米地位協定で日本の対策に縛られない米軍は「日本と整合的な措置を取る」と説明してきたが、日本で求められる米国出国前・日本入国直後の検査を行わず、入国後14日間の行動制限期間を10日間に短縮。行動制限中の基地内移動も認めていた。

日本政府は12月22日に在日米軍に抗議。在日米軍は出国前72時間以内と入国後24時間以内の検査を約束するなど、同30日までに順次、日本と同等の

対応を導入した。ただ、沖縄、山口、広島3県とも12月下旬から感染拡大が始まっており、引き締めが間に合わなかったとみられる。

3県は不信感を強める。沖縄県の玉城デニー知事は6日、記者団に「感染拡大の大きな原因の一つは米軍基地」と断じ、山口県の村岡嗣政知事は「米国から来る際に検査を行わなかったことが大きな影響を及ぼした」と指摘した。広島県の湯崎英彦知事は「非常に遺憾」と米軍を批判した。

日本政府は沈静化に躍起だ。沖縄と山口の米軍基地以外にも、6日時点で三沢基地（青森県）に82人、横須賀基地（神奈川県）に80人、厚木基地（同）に69人、横田基地（東京都）に65人の感染者がおり、感染拡大への不安や反基地感情が全国に広がりかねない。厳しい姿勢を示さなければ、批判の矛先が米軍だけでなく政権にも向く恐れがある。

岸田文雄首相は6日、首相官邸で記者団に、米軍起源説について「現時点で断定は難しい」としつつ、7日の日米安全保障協議委員会（2プラス2）で厳格な措置をさらに強く求めるよう林外相に指示したと強調。「米側にしっかり働き掛け、（国民の）理解を得ていきたい」と語った。

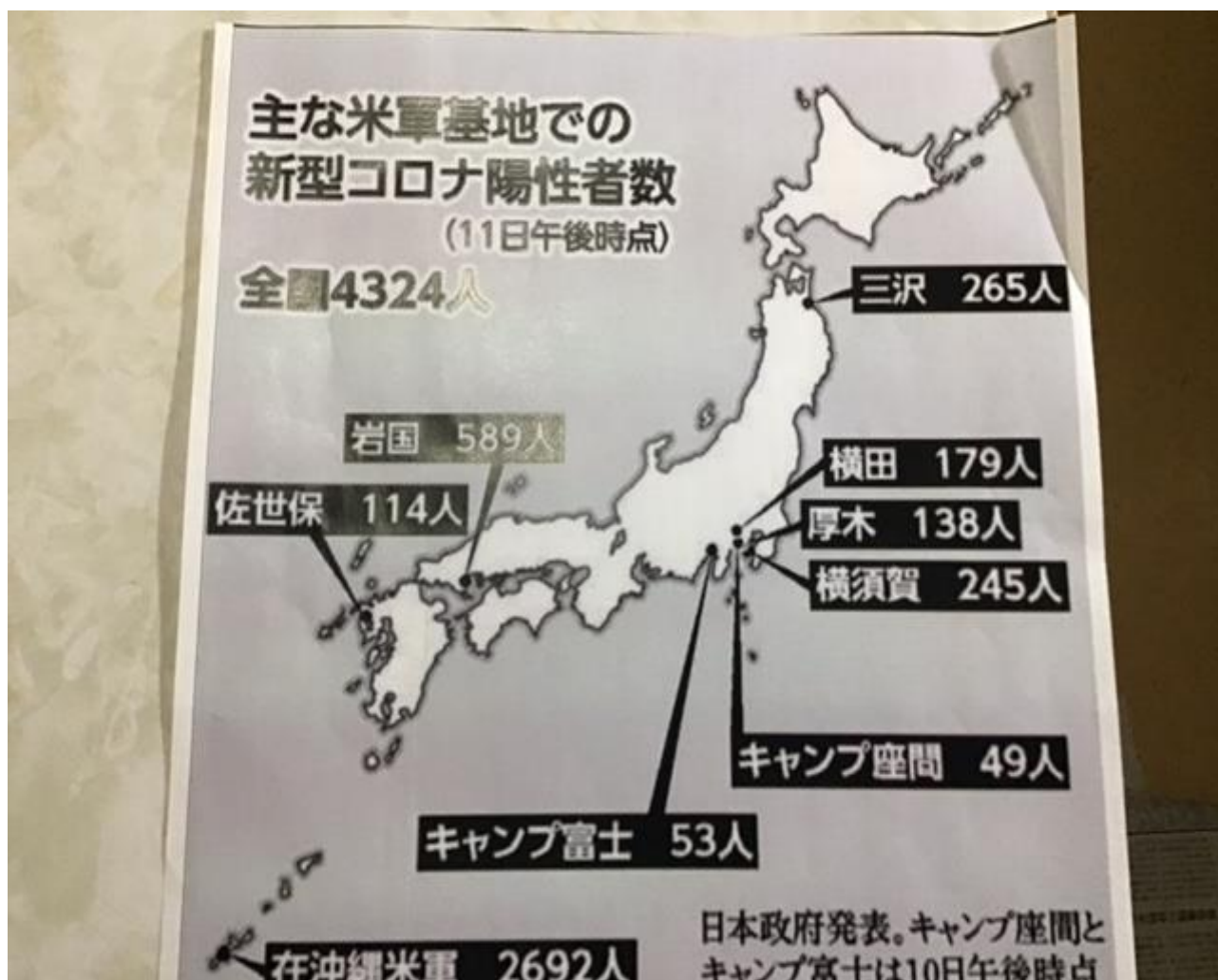
在日米軍は6日、足並みをそろえ、基地外でのマスク着用義務化などの感染防止策を発表した。

野党からは日本の検疫を阻む日米地位協定の見直しを求める声上がる。共産党の志位和夫委員長は会見で「屈辱的な地位協定に根本原因がある。抜本改正を強く求める」と語った。

在日米軍6300人超感染 6日間で2千人増加 沖縄4千人超

全国の在日米軍基地での新型コロナウイルスの「現存感染者」(陽性者)は(1月)17日午後時点で6343人に上り、6日前と比べて約2000人増加したことが分かりました。松野博一官房長官が18日の会見で明らかにしました。

沖縄県内の米軍関係者は4188人が感染し、4000人を突破。全体の6割以上を占めました。(1月)11日時点と比べると約1500人増加しており、感染拡大に歯止めがかからなくなっています。(「しんぶん赤旗」2022年1月20日)



(「しんぶん赤旗」2022年1月13日)